

10月の電話相談・来室相談から ～不登校生を持つ母親の声～

学校には毎朝電話を入れています、「今日も学校に行けません。」と言わなければならぬかと思うと気が重くて・・・。

息子はたまに登校すると、いろんな人から矢継ぎ早にいろいろと聞かれるようです。心配してくれているのは有り難いのですが、そっとしておいてほしいという思いがあります。いろいろ聞かれるのが嫌でまた学校に行きたくなくなるといいます。



登校している弟は「今日も不登校の姉のことをいろいろと聞かれたようです。」なんて僕が姉ちゃんのこととでいちいち聞かれなければならないのかと帰宅後、姉にぶつかっていました。姉は姉で「私だってズルして休んでいるんじゃない。」と姉弟喧嘩になってしまっただけでなく、弟も辛い思いをしているようです。挙句は「姉ちゃんばかり、ずるい。僕だって家でゲームをしたい」という始末。姉弟同じように接したいが、どう接したらいいか難しくて・・・。

学校から足が遠いた息子は、たまに登校すると「俺のことをネタに話しているようだ。」「“元気か”と声をかけられるが、本当は別のことを考えているんじゃないか。」「コの字型授業の時は正面の友達の目線が気になる」といいます。妄想や被害者意識が働くようなのです・・・。

全国に約12万人いるといわれる不登校児童生徒。そうした子どもたちの親御さん・ご家族の気持ちを察していかなければという思いです。

不登校の子どもたちは、一人ひとり性格も家庭環境も不登校の原因も様々ですが、いずれの子どもも登校していない分学力の遅れは否めません。教科指導をしていて、もう少し早い時期から適応指導教室に通級していればよかったのと思わずにはられません。狭義の学力とはいえ、家庭でのひとり学習で学校並みの学習など到底できません。家庭教師でも雇わない限り追いつくことは難しいようにも思います。

「～待っています～」 シャイニングクラス（適応指導教室）

週はじめの朝は緊張感がいつも以上にあります。そして、8時半少し前に電話のベルが鳴ると「今日は誰が休むのかな」と心の中で不安になります。きっと保護者の方々も、毎日、今日は行けるかなと気になる生活が続いていることでしょう。まして学校に行けなかったり、行かないことを選択したりしている小中学生は日々考えたり、悩んだり、時には自己嫌悪に陥ったりしているのでないかと心配になります。



学習の様子 (11/5)

在籍している子どもたちが定時に顔を見せ、前日のアイドル達の話に熱中し、学習課題に真剣に取り組んでいる様子を見ると、とても幸せな気持ちになります。しかし、話を聞いていてもなかなか顔を合わせられない生徒や通級までになっていない人達について考えが及ぶとき途端に「どうしよう」と思考が進まなくなります。

一年前を思い出してみると、修学旅行には行けなかったけど、学校には行った生徒達。春からは定期的に登校している人たちもいます。まだ、考え中の皆さん一歩踏み出してみたいはいかがでしょうか。その一つの方法がシャイニングクラスへの通級です。一緒に考え、学んでみませんか。ゆっくりでも、一步一步前に進んでほしいと思っています。

“多彩な活動を体験していますよ”

先月末は感謝を伝えようと絵手紙づくりに挑戦しました。先のいも煮会に参加してくださった方々や日頃から教科指導でお世話になっている先生方宛に、心を込めて。イモ類や栗、可憐な植物等を描いた下絵に色付けし、次に感謝の気持ちを文にしたため素敵な絵手紙を、約1時間で完成させました。お互いに見せ合い出来栄を褒め合った後、投函しました。後日手にされた方々から逆にお礼の言葉をいただき、生徒達はとても満足そうでした。

ひょんなことから「琴のミニ発表」を聴くこともできました。通級時廊下伝いに聞えてくる琴の音に暫し耳を奪われることがあったのですが……。 「短時間ですが、練習の成果を聴いてもらえませんか。」と館長さんに誘われ、二つ返事で幸運な機会をいただいたのでした。吉野山、荒城の月、さくらさくらなど、真剣な演奏に聴き入ってしまいました。中には小学校時に音楽で琴の体験をした通級生もいて、初対面ながらお師匠さんと当時の様子を嬉しそうに語る場面もありました。「普段聴くことができない琴の演奏をこんなにすぐ傍で聴くことができ、とても新鮮でした」「琴があんなにきれいな音が出るとはすごいなあと感激しました」などと、生徒たちは感想を記していました。

勤労体験学習の最後はダイコン販売でした。天気の関係で収穫は不可能でしたが、先日市役所内を売り歩きました。ちょうど昼休みの時間、ダイコンの入ったコンテナを持って、恥ずかしさと戦いながらの活動でした。しかし、回を重ねただけあって数十本あったダイコンは見事(?) 完売。ほっと胸を撫で下ろす体験となりました。畑はきれいさっぱりとなりましたが、ここから得たものは言葉では言い尽くせない貴重な体験として、生徒たちの心に残ったことでしょう。

これからも通級生に寄り添い活動していきます。



完成した礼状(絵手紙)



イヌタデを描きお礼の言葉
を添える通級生(10/31)



あ と が き

殴る、蹴る、すぐキレル。小学生にいま何が? (週刊ニュース深読み・11/1 放映)
原因はストレス。学習内容も古文・漢文・英語・裁判員制度など教科書ページ数25%増。授業時数も6年間で278時間の増加。親は長時間労働で共働き世帯が増加。帰宅時刻が遅く親子の会話も少ない。また、親は“高学歴のバトン渡し”思考。地域では遊び場である公園は声がうるさいと近隣住民からの苦情。不審者の出没で1人で遊ばせることも心配。学校では超多忙な先生の様子から子どもたちは職員室への相談も遠慮してしまうという。些細なことで傷つく子もいる。価値観も変化している。言葉で表現できずすぐカッとなる子の存在もある。環境も変化し、異年齢交流も少ない。学校の宿題をする時間が増加し、ゆっくり過ごせない小学生の実態や外遊びやスポーツをする時間が減少していることがアンケートから分かるという。子どもたちは追い詰められている感じすらする。私たち大人が知恵を出さなければなりません。

11月の活動 シャイニングクラス在籍 8名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 数学、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 理科、体育 ○ 木曜日 体験活動(月2回)

- ◆ 体験活動⑮ 10月25日(金)
「礼状(絵手紙)を書く」
- ◆ 体験活動⑯ 11月17日(月)
「ダイコンの販売」
- ◆ 体験活動⑰ 11月27日(木)
「外部講師によるキャリア教育」



ダイコンを市職員の皆さん
に販売しました(11/17)

教育相談連絡先

- ダイヤルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室(シャイニング)
TEL 22-2111
(内線 445,448)
林、小野、鈴木が担当です。